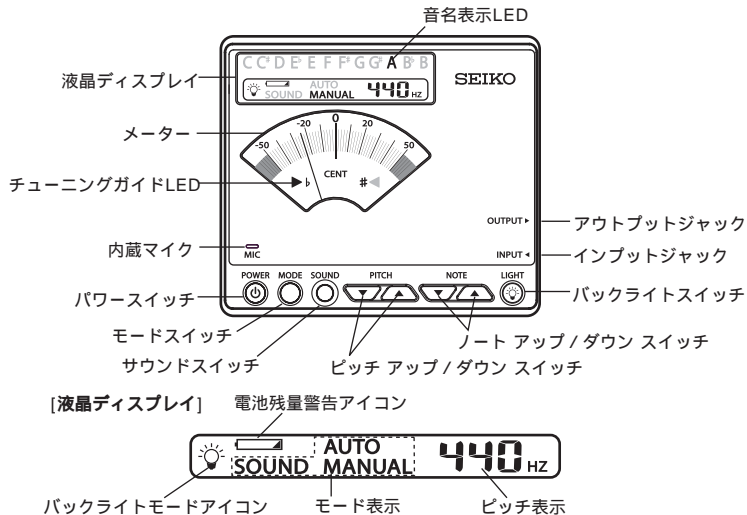


# SEIKO CHROMATIC TUNER SAT1100

## 取扱説明書

### 各部の名称



### ご使用の前に

#### 1. ハードカバーを取り外します。

まず、ハードカバー下部のツメ (b) を2箇所取り外し、チューナー上部 (A) のくぼみから突起 (a) を片側ずつ取り外します。

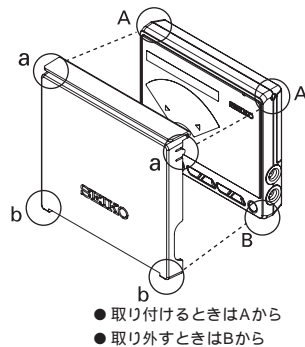
(取り付けるときは逆の要領で、まず上部 (A-a) を片側ずつはめてから、下部 (B-b) をはめ込んでください。)

「ハードカバーの便利な使い方」については、下記をご参照ください。

#### 2. 電池ぶたを開け、電池の包装を取り除いて極性 (+・-) を間違えないよう、電池をセットしてください。

付属の電池は機能確認用ですので、寿命が短い場合があります。

下記「電池交換の方法」をご参照ください。



### チューニングの方法

電気・電子楽器をチューニングする場合や、別売のコンタクトマイク (STM10 / STM20) を使用してチューニングする場合は、プラグをインプットジャックに接続します。インプットジャックにプラグが接続されているときは、内蔵マイクはご使用になれません。

#### オートモード (AUTO)

自動チューニングするモードです。楽器を鳴らすと、その音にいちばん近い音名が表示され、その音に対して高いか低いかを針で示します。

1. パワースイッチを押して電源をオンにします。
2. モードスイッチを押して、オートモード (AUTO) を選びます。
3. 楽器を単音で鳴らします。内蔵マイクでチューニングする場合は、なるべく静かな環境で、本製品の近くで楽器を鳴らしてください。
4. 合わせたい音名が表示されるように楽器をチューニングしてください。
5. メーターの針が0セントに合うように楽器をチューニングします。楽器音と表示音のズレが±3セント以内になると、チューニングガイドLEDが2個同時に点灯します。

#### マニュアルモード (MANUAL)

あらかじめ音名をセットしてチューニングするモードです。楽器を鳴らすと、セットした音名に対して高いか低いかを針で示します。

1. パワースイッチを押して電源をオンにします。
2. モードスイッチを押して、マニュアルモード (MANUAL) を選びます。
3. ノート アップ ( ) / ダウン ( ) スイッチを押してチューニングしたい音名 (ノート) をC-Bから選択します。
4. 楽器を単音で鳴らします。内蔵マイクでチューニングする場合は、なるべく静かな環境で、本製品の近くで楽器を鳴らしてください。
5. メーターの針が0セントに合うように楽器をチューニングします。楽器音と表示音のズレが±3セント以内になると、チューニングガイドLEDが2個同時に点灯します。

#### サウンドモード (SOUND)

チューナーから発音される基準音を耳で聞いて楽器をチューニングします。

1. パワースイッチを押して電源をオンにします。
2. サウンドスイッチを押してサウンドモードにします。
3. ノート アップ ( ) / ダウン ( ) スイッチを押してチューニングしたい音名 (ノート) をC-Bから選択します。(発音範囲: C4-B4)
4. 発音される基準音に合わせて楽器をチューニングします。

サウンドモードを解除するときは、サウンドスイッチまたはモードスイッチを押します。

#### 基準ピッチの変更

基準ピッチを変更する場合は、ピッチアップ ( ) / ダウン ( ) スイッチを押して変更します。(設定範囲: A4 = 410 ~ 450 Hz)